

# 阿賀野川の河跡

## ■北区に残る阿賀野川の河跡

阿賀野川は、現在の堤防ができるまでは暴れ川で、洪水などによりたびたび流路が変わりました。岡方地区にある十二瀧は、もともと阿賀野川の流路の一部で、それが三日月湖(瀧)になって残ったものです。たくさんある河跡の中で、唯一水面を保つ貴重な三日月湖です。

## ■もう1つの河跡

岡方地区には、ほかにも阿賀野川の乱流蛇行を良く伝える地形が残っています。太子堂～大久保～長戸呂と大迎の集落の間にある三日月形の低地帯です。

現在は、水田になっていますが、江戸時代の絵図を見ると、ここに「長戸呂瀧」と呼ばれた瀧がありました。十二瀧よりも古い時期にできた三日月湖です。当時は、用水として利用したり、漁も行われていたりしましたが、だんだんと水田に変わっていったようです。

周辺の集落は古くから開発されているので、見どころもたくさんあります。新緑や紅葉の季節に、太子堂から大久保の旧堤防の道を歩いてみませんか。

### 太子堂上宮社

明治時代、このあたりで太玉焼が作られました。常山雲涯(三条の画家)も絵付けを担当。豪華絢爛な焼き物の一部は、北区郷土博物館に展示しています。



▲墨絵金彩武者絵深鉢(市指定文化財)

### 浄應寺

1743(寛保3)年に建築された約280年前の古い浄土真宗の寺院。境内には岡方の良寛と親しまれた護山季寿の像があります。

太子堂上宮社と大迎神明社の境内にはツツガ虫除けの祠があります。昔はツツガ虫に刺されて亡くなった人もいたそうです。

### 阿賀野川



大久保の大ケヤキ(市指定天然記念物)樹齢300年。北区で2番目に大きいケヤキ。新緑のころはとてもキレイです。神明社境内には、ほかに大久保開発記念碑もあります。

太子堂

もみじトンネル

大久保

岡方中学校

大阿賀橋

大阿賀橋竣工記念碑

大迎

新潟中央環状道路

岡方コミュニティセンター

長戸呂

大日堂

新江用水

岡方・長湊の広大な農地を潤します。

新江用水竣工記念碑

岡方第一小学校

阿賀野川の河跡 江戸時代には瀧だった

北海酔道人の碑(長安寺境内) 長戸呂生まれの江戸後期の文人画家の顕彰碑。山水花鳥画を多く残しました。

# 新井郷川を走っていた川蒸気船



## 蒸気船の発着場

## ■川蒸気船

新潟～葛塚間の新井郷川に蒸気船が定期的に走り始めたのは1875(明治8)年からです。

1902(明治35)年、新潟安進社という会社が「安進丸」2隻を就航させ、人々はこれを「葛塚蒸気」と呼び親しましました。

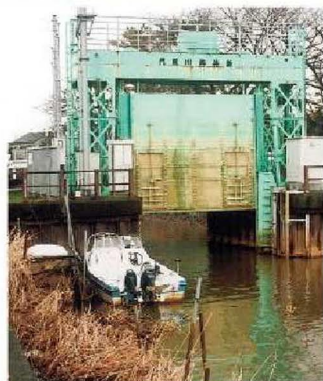
蒸気船は、新潟の萬代橋付近を出発し、沼垂から通船川を経て阿賀野川を渡り、新井郷川へ入り、松浜、名目所、濁川、兄弟堀に寄港し、葛塚の下他門に到着しました。行程は約26km、約2時間半を要しました。一時は天王まで航行され、蒸気船特有の外輪をガラガラと回転させて航行したそうです。

しかし、鉄道や乗合バスなどの陸上交通の発達により、昭和の初めに姿を消しました。

## ■北区だけを流れる新井郷川

新井郷川は、福島瀧から常時流れ出る唯一の川で、全長約14kmあります。昔は、現在の新元島町付近から阿賀野川に流れ出ていました。

この川は、上流と下流の高低差が少ないため流れはゆるく、阿賀野川の水が逆流して水害が起こるので、松浜地内の砂丘地を開削する大改修工事で、1933(昭和8)年に直接日本海へ流しました。



▲新井郷川閘門(西名目所)

## ■新井郷川閘門

新井郷川の古い川筋に、1931(昭和6)年に設置された閘門があります。閘門は、水位の異なる川に船を通すエレベーターのような施設のことです。新潟～葛塚間に物資や人を運ぶ船を通しつつ、門を閉めれば、ほとんどの川の水が直接日本海に流れるようにも機能しました。

現在、閘門機能はありませんが、当時の様子を偲ぶことができます。



▲新井郷川を往く川蒸気船(他門付近) 提供/柏崎市立図書館